

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館・博物館施設管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	07	01	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）			主管課	図書・博物館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進			主管課長	小栗 信一郎			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館及び博物館利用者 (市外も含む)	意図	快適・安全な施設を使用していただく。
事業内容	清掃・空調設備等の保守・業務を管理専門業者に委託するとともに、図書館及び博物館の施設と設備の維持・管理を行い、市民に生涯学習の機会を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	図書・博物館の老朽化が進行することにより、不具合の発生が懸念される。毎年修繕計画をたて、緊急性のあるものから優先的に修繕している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	清掃の実施回数	300	317	304	
②	修繕回数	30	18	22	件	→→	
③	施設の利用者数	54,499	88,995	91,768	人	↑↑↑	中央図書館65,955人+博物館25,813人
④	施設の1日平均利用者数	293	290	298	人	→→	利用者数/開館日数(開館：図書館304日、博物館308日)
指標で表すことができない定性的な成果	簡易な修繕については、職員が自主的に行い、修繕費の経費削減に努めている。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	生涯学習施設として利用者に対し、常に良好な環境の中で学習し、研究する場を提供するため、施設の清掃及び環境衛生業務委託に係る日常の清掃場所を再点検した。また、中央図書館・博物館の耐震補強工事に伴い、清掃委託業務従事者の拘束時間や人員を見直した。さらには施設内外の損傷状況を常に把握し、発見した場合は迅速に修繕を行うよう努めた。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	20,678,492	20,677,743	18,895,677				
事業費(b)(円)	20,678,492	20,677,743	18,895,677				
うち一般財源	20,678,492	20,677,743	18,895,677				
職員給与と費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円) (建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年) (建設又は取得年度のみ記入)							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡大して継続すべき)					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	図書館及び博物館を利用する市民が施設及び施設設備により不快に感じることがないように、引き続き安心で安全な施設として保全する。	③取組の課題	図書・博物館のさらなるバリアフリー化や施設の経年劣化に伴う修繕を優先度を見極め行う必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	中央図書館・博物館内機械室において地下水の流入が起きたことから、調査を行い原因究明に努めるとともに、応急的な修繕を行った。また、緊急性の高い小破修繕優先順度順に行った。	④今後の改善計画	施設の小破修繕をはじめ、大規模な修繕計画を作成するとともに、ESCO事業の継続を図っていく。